

プログラム

| | | | |
|-------|-------------|-------|-------------|
| 13:00 | 開会挨拶 | 14:40 | 休憩（10分間） |
| 13:10 | 基調講演：松本俊彦先生 | 14:50 | パネルディスカッション |
| 14:10 | 当事者の体験談 | 16:30 | 家族会紹介 |
| 14:25 | 家族の体験談 | 16:40 | 閉会 |

総合司会



塚本堅一

千葉県出身。明治大学卒業後、アナウンサーとしてNHKに入局。2015年より東京アナウンス室に配属。ニュース番組のリポーターを担当する。2016年に危険ドラッグ所持・製造で逮捕される。その後、依存症からの回復プログラムを受講し社会復帰を果たす。

講師の紹介

松本俊彦



国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長
同病院 薬物依存症治療センター センター長

1993年佐賀医科大学医学部卒業。神奈川県精神医療センター医師、横浜市立大学医学部附属病院精神科助手を経て、2004年に国立精神・神経センター（現、国立精神・神経医療研究センター）精神保健研究所 司法精神医学研究部専門医療・社会復帰研究室長に就任。以後、同研究所 自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長、同副センター長などを歴任し、2015年より同研究所 薬物依存研究部部長に就任。2017年より国立精神・神経医療研究センター病院 薬物依存症治療センター センター長を併任。

コーディネーターの紹介



古藤吾郎

日本薬物政策アドボカシーネットワーク事務局長

NPO 法人アジア太平洋地域アクション研究所（アパリ）／日本薬物政策アドボカシーネットワーク事務局長（精神保健福祉士）。ドラッグ使用に対して、健康と人権に重点を置いた薬物政策の実現を目指し、国内外のNGOと連携し、活動に従事。また、ドラッグを使用することがある人のためのホットライン、受刑中の薬物事犯者との通信プログラムなども担当。

パネリストの紹介



溝口晃壮

厚生労働省精神・障害保健課
依存症対策推進室室長補佐

平成10年度厚生省（現厚生労働省）入省。厚生労働省では主に難病等疾病対策、予防接種対策、食品安全・食品衛生対策等へ従って平成29年度より現職。主にアルコール健康障害・依存症対策を担当し、このうち予算要求や執行管理、普及啓発事業、民間団体支援業などの企画・事業を主に担当。



今成知美

ASK 代表

季刊誌『Be』編集長。予防教育に取り組み、ライフスキルを組み込んだ参加型の「ASKプログラム」を構築。超党派議員立法によるアルコール健康障害対策基本法の制定に奔走。2014年の同法施行後、内閣府のアルコール健康障害対策関係者会議委員（教育・誘引防止・飲酒運転等ワーキンググループ座長）として、アルコール健康障害対策推進基本計画の策定に関わる。



岡崎重人

川崎ダルク施設長

NPO 法人川崎ダルク支援会理事

1980年生まれ九州大牟田市生まれ、東京に育つ。2004年1月、沖縄ダルクにてリハビリを開始し日本ダルクに移動。2004年3月から川崎ダルクにてリハビリおよびボランティアスタッフとして活動。東京ダルクでの職員研修を経て、2007年NPO法人川崎ダルク支援会職員となる。2012年12月川崎ダルク施設長代行となり2013年4月より施設長に就任。



横川江美子 やっかれん理事長

国家公務員として在職中に息子の薬物問題発生。岩井喜代仁氏の著書に巡り合い、茨城ダルク家族会に参加。2016年から薬物依存症者家族会連合会（やっかれん）理事長に就任。薬物依存症は本人のみならず家族を巻き込む病気。「やっかれん」は家族会の連合体として家族を支援し薬物問題を広く社会に発信。

主催：NPO 法人全国薬物依存症者家族会連合会

〒121-0813 東京都足立区竹の塚 5-18-9-207 TEL03-5856-4824/FAX03-5856-4827

<http://www.yakkaren.com/>